

通し番号	4679
------	------

分類番号	25-3B-12-08
------	-------------

‘白加賀’と同時期に収穫され、連年安定的に多収な青ウメ有望系統 6-1 の育成	
[要約] ‘白加賀’に代わる青ウメ品種の育成を目的として交雑・選抜育種を実施したところ、‘白加賀’と同時期に収穫され、連年安定的に多収が得られる有望系統 6-1（‘白加賀’自然交雑実生）を育成した。	
神奈川県農業技術センター・生産技術部・果樹花き研究課	連絡先 0463-58-0333

[背景・ねらい]

県内の青ウメ主要品種‘白加賀’は収量が少なく着果も不安定であるため、農家の経営安定のためには安定的に多収が得られる青ウメ品種の育成が望まれている。

そこで、‘白加賀’と同時期に収穫され、連年安定的に多収が得られる青ウメの有望系統を育成する。

[成果の内容・特徴]

- 1 有望系統6-1は連年安定して‘白加賀’の2倍以上の単位収量が得られており、‘白加賀’が不作となった2013年でも1464kg/10aの収量が得られている（表1）。
- 2 果実品質は‘白加賀’と同等で、ヤニ果発生は‘白加賀’より少ない（表1）。
- 3 収穫日ごとの単位収量で比較しても‘白加賀’と同時期に収穫が始まり、収穫期後半まで安定的に収量が得られる（図1）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 有望系統6-1、‘白加賀’ともに2L果（直径36mm以上）を収穫したデータである。
- 2 品種登録については、現地適用性試験を行った上、市場出荷、直売等の市場性を加味して検討する。

[具体的データ]

表1 青ウメ有望系統6-1と‘白加賀’の収穫期及び収量、果実品質比較

系統・品種名	年度	収穫期	収量 (kg/10a)	果実重 (g)	核重率 (%)	ヤニ果率 (%)
6-1	2011	5/30~6/13	2086	28.2	13.0	1.6
	2012	5/31~6/25	2114	27.2	11.8	0.9
	2013	5/16~6/3	1464	30.0	10.8	0.9
白加賀	2011	5/26~6/13	792	28.8	11.2	2.3
	2012	5/28~6/18	900	27.4	8.7	4.6
	2013	5/16~5/27	81	29.2	9.3	2.3

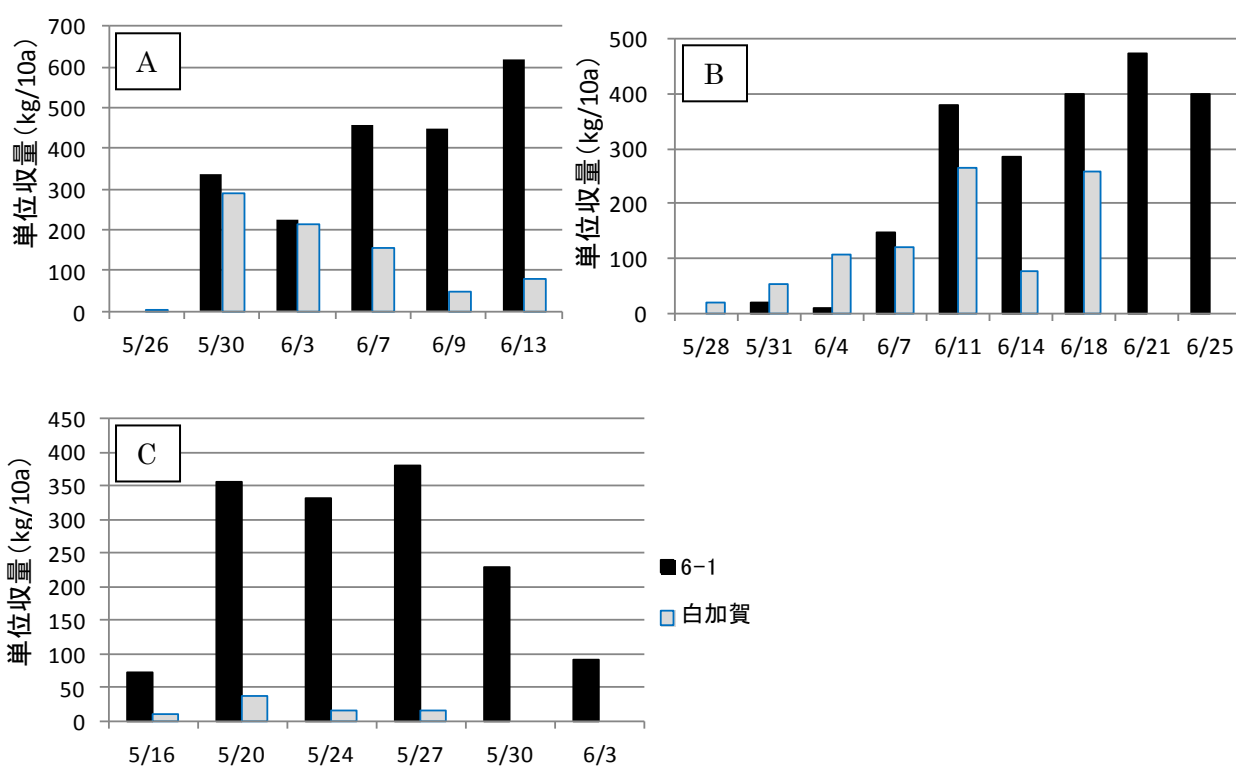


図1 有望系統6-1と‘白加賀’における収穫日ごとの単位収量
(A : 2011年、B : 2012年、C : 2013年)

[資料名] 平成23~25年度神奈川県農業技術センター試験研究成績書(果樹)

[研究課題名] 果樹の新品種育成
(2) ウメの新品種育成

[研究期間] 平成9~25年度

[研究者担当名] 曾根田友暁、柴田健一郎、小泉和明、北見丘、小林正伸